



講演

『アートの中のアニメーション』

講師

ア リ モ
ALIMO 氏

愛知県立芸術大学メディア映像専攻教授、美術作家、
アニメーション史家

内容

現在、アニメーションには多様な表現と作品発表の場があります。それゆえに、アニメーションは映画なのか、それともアートなのか、という問いについて考える機会が増えてきているように思われます。本講演では、古典的な表現から近年の拡張的な表現まで参照しながら、イメージを作ることや物語ることの相違を見つけ、とりわけアニメーションとアートの関係について考えていきます。



トークセッション

『アニメーションとアートの 関係を考える』

登壇者

- ・ALIMO 氏 (愛知県立芸術大学メディア映像専攻教授、美術作家、アニメーション史家)
- ・安野 太郎 氏 (やすの たろう) 氏
(愛知県立芸術大学作曲専攻准教授、名古屋工業大学客員准教授、作曲家)
- ・田村 友一郎 氏 (たむら ゆういちろう) 氏
(名古屋芸術大学美術領域現代アートコース准教授、アーティスト)
- ・鈴木 一絵 氏 (すずき かずえ) 氏 (SEASUN 主宰)
- ・数土 直志 氏 (すど ただし) 氏 (ジャーナリスト、ANIAFF アーティスティック・ディレクター)

内容

愛知で芸術文化活動をしている有識者を講師として招き、地域、大学教育、作家活動、文化形成をキーワードに、アニメーションとアートの関係について対談を行います。

12月6日(土)

午後2時～午後4時30分

(開場: 午後1時30分)

会場 **愛知県図書館 5階大会議室**

定員 **100名**

(事前申込制。申込〆切 12月3日(水)まで。)

ALIMO 氏

愛知県立芸術大学メディア映像専攻教授、美術作家、
アニメーション史家

1977 年山口県生まれ。インド留学、エストニア芸術アカデミー客員研究員を経て、東京藝術大学大学院にてアニメーションの学術論文で博士号取得。毎年学術発表もしており、創造的実践と史学的理論を併存させた活動をしている。アブドルアジーズ王世界文化センターの協力で制作した、日常と寓話と哲学を混合させた『並んだ LAND』(2023)はザグレブ国際アニメーション映画祭でプレミア上映されたほか、ジョージアの映画祭で最優秀アニメーション賞を受賞した。ザグレブ現代美術館や国立新美術館、群馬県立館林美術館、Pola Museum Annex、国際芸術センター青森などで作品が発表された。第 11 回岡本太郎現代芸術賞特別賞受賞。



安野太郎 氏

愛知県立芸術大学作曲専攻准教授、
名古屋工業大学客員准教授、作曲家

1979 年東京生まれ。東京音楽大学卒業、情報科学芸術大学院大学 (IAMAS) 修了。テクノロジーと社会・人間を背景に、音楽の価値基準を根底から転倒させる実践を展開。代表作に、自作自動演奏楽器による「ゾンビ音楽」等がある。2019 年にはヴェネチア・ビエンナーレ日本館において、複数作家と協働し、人と環境の循環を描く作品『Cosmo-Eggs』(2019)を発表。また、『大霊廟 IV-音楽崩壊-』(2023)では、自動演奏と人間の関係性を通じて、音楽と社会における枠組みを揺さぶり、第 23 回佐治敬三賞を受賞した。



田村友一郎 氏

名古屋芸術大学美術領域現代アートコース准教授、
アーティスト

1977 年富山県生まれ。日本大学芸術学部写真学科卒業。東京藝術大学大学院映像研究科博士後期課程修了。ベルリン芸術大学空間実験研究所在籍 (2013-2014)。作品は、写真、映像、インスタレーション、パフォーマンス、舞台まで多彩なメディアを横断し、土地固有の歴史的テーマから身近な大衆のテーマまで幅広い着想源から、現実と虚構を交差させつつ多層的な物語を構築する。近年の展覧会に個展「ATM」(水戸芸術館現代美術ギャラリー、2025)、愛知の仕事に「未完の始まり：未来のヴンダーカンマー」(豊田市美術館、2024)、国際芸術祭「あいち 2022」、「これからの写真」(愛知県美術館、2014)など。2026 年 1 月から名古屋市美術館での企画展が予定されている。



鈴木一絵 氏

SEASUN 主宰

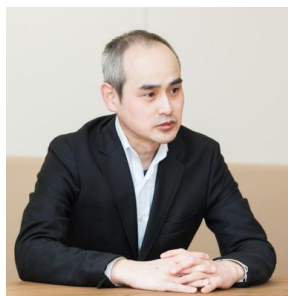
1985 年愛知県生まれ。2008 年 4 月から 10 年間、独立行政法人国際交流基金にて勤務し、文化交流事業に従事。退職後に愛知県に戻り、2020 年に東南アジアとのアート交流プロジェクト SEASUN を立ち上げ、アーティストの実践やさまざまなカルチャーを紹介する活動を実施している。2023 年 3 月からは、名古屋市中川区の古い倉庫を改装したオルタナティブスペース「Q SO-KO」を拠点に活動。美術交流事業等のコーディネートや通訳も務める。



数土直志 氏

ジャーナリスト、
ANIAFF アーティスティック・ディレクター

国内外のアニメーションや映画・エンタメに関する取材・報道・執筆を行う。また国内のアニメーションビジネスの調査・研究をする。大手証券会社を経て、2002 年に情報サイト「アニメ！アニメ！」を立ち上げ編集長を務める。2012 年に運営サイトを (株) イードに譲渡。「デジタルコンテンツ白書」アニメーションパート、「アニメ産業レポート」などを執筆。主著に『誰がこれからのアニメをつくるのか？ 中国資本とネット配信が起こす静かな革命』(星海社新書)、『日本のアニメ監督はいかにして世界へ打って出たのか？』(星海社新書)。



【主催】 【問合せ先】

愛知県
愛知県民文化局文化部文化芸術課企画グループ
電話 052-954-6184 / FAX 052-972-6075
メール bunka@pref.aichi.lg.jp

【会場】

(平日午前 8 時 45 分から午後 5 時 30 分まで)
愛知県図書館 (名古屋市中区三の丸一丁目 9-3)
※駐車場は有料です。台数に限りがありますので、
公共交通機関での来館にご協力をお願いします。

詳細は愛知県の HP に
てご確認ください。



申込フォーム URL

